2026 年 11 月 11 日～13 日に、福岡県北九州市の北九州国際会議場で開催された「超音波シンポジウム（USE 2026）」に参加させていただきました。

私は 2 年前にも USE でポスター発表を経験していましたが、今回も発表前は会場特有の雰囲気に緊張していました。しかし、いざ説明を始めると、2 年前以上にディスカッションを楽しむことができ、自分自身の成長を感じました。

一方で、分かりやすく伝えようと説明を省略した結果、十分に理解していただけない場面もあり、説明力の不足を実感しました。また、普段考えていなかった角度からの質問をいただき、新たな視点を得るとともに、自分の研究に対する理解の浅さも痛感しました。

自分の発表時間以外には、ポスターセッションやオーラルセッションを聴講しました。レーザを利用した研究は比較的少なかったものの、空中超音波に関する発表は多く、特にその分野を中心に聴講しました。信号の解析手法や受信機器の課題など、自分の研究にも参考になる内容があり、新たな知見を得ることができました。

学会の合間には、地元の定食屋さんでランチを楽しむなど、福岡の美味しい料理も満喫しました。

特に 1 日目の夜には、先生方や学生の皆さんと一緒に、福岡名物の胡麻鯖やもつ鍋をお腹いっぱいになるまで堪能しました。その後、満腹の状態でホテルへ戻ろうとしたのですが、「せっかく福岡まで来たのだから、博多ラーメンを食べずに帰るわけにはいかない！」と思い、塚田くんと松岡くんとともに締めの豚骨ラーメンを食べに行きました。お酒の影響なのか、細麺のおかげなのか、それともラーメンの魔力なのか……。満腹だったにもかかわらず、あっという間に完食してしまいました。

また、2 日目の懇親会では 5 種類の日本酒を味わいました。中でも北九州の地酒「天心」は、甘味と辛味のバランスが良いやや辛口の味わいで、料理との相性も抜群でした。

今回の学会では、自分自身の成長と課題を実感し、今後の研究につながる学びを得るとともに、北九州の美味しい料理やお酒も満喫できた、有意義な出張となりました。



